

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 956

事業名	湊港利用者協議会運営補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	都市整備部	管理課		款	土木費・8款
電話	0799 - 37 - 3014			項	港湾費・4項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	港湾管理費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			なし	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		湊港利用者協議会(湊港の利用事業所等)			構成人数(人) 38
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 公共の場ともいえる港湾施設である湊港を適切に維持管理する。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 自主的な港湾周辺の日々の散水作業や清掃活動、港湾の安全利用、港湾利用者間の連絡調整等			
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 湊港の利用事業所等38社で組織し、自主的に港湾周辺の日々の散水作業や清掃活動、港湾の安全利用、港湾利用者間の連絡調整等をしている。			
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
	補助金算出根拠	公共の場ともいえる港湾施設での清掃奉仕活動等に係る経費の一部に対して補助する。			
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	90	90	90	90
	湊港利用者協議会運営補助金	90	90	90	90
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	90	90	90	90
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	90	90	90	90
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	2.4	2.4	2.4	2.4
受益者人数(38)1人当り経費(千円)	2.4	2.4	2.4	2.4	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 周辺道路の清掃が出来ている。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 港湾施設利用者が、相互協力や連絡網があることで、事業の説明や調整が非常にスムーズ出来る。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 組織が出来ているため、統一した意見で県要望が行なえ、また連絡網を利用して、周知しやすい。自発的清掃活動等が行なわれているため、港湾周辺がきれいになっている。	<p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	清掃活動はもとより、県港湾の安全な利用のため組織の存続は必要である。	同左
(現状維持以外の改善方法)	他の港湾でも同様な組織作りを推進したい。	同左
改善によって期待される効果	事業のスムーズな遂行。	同左
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 県港湾であるが、市も関わっているため各利用者への事業説明や意見の取りまとめに、時間がかかる。	